

小さなVIPは

「とび出し」ざかり

新入学(園)児を交通事故から

守りましょう

もうすぐ新入学(園)の季節です。あの道、この道に、ピカピカの笑顔があふれます。

毎年、交通事故で死傷する幼児・小学生は全国で五万人以上。その四割は保育園児と小学一年生で、歩行中の事故の半数が「とび出し」によって起きています。ガイドしてください。



一つのことには注意が向くと他のことが目に入りません。

1



「とび出し」の防止を徹底的に指導しましょう

●「とび出し」というのは、どのような行動(ストップしない)で、左右を見ずに車道に走り出ること)で、なぜ危険なのかを理解させましょう。

●「とび出しはダメよ」という禁止的な指示だけでなく、「ストップ」を体得させましょう。

2

位置と危険な関係の理解が未熟で直感的・感覚的に行動します。

通学(園)路を実地に点検し安全な横断を指導しましょう

●子どもと一緒に通学(園)路を歩き、危険な場所、安全確認が欠かせない場所をチェックし、具体的な通行方法を実地で教えましょう。

●道路の左右がよく見通せる場所を指示し、必ずそこから横断するよう指導しましょう。



3

「青信号は「安全」こと単純な理解しかできません。

信号の見方や意味を実地で理解させましょう

●「ここでストップし、あの信号を見て、青になったら渡る」というように、実地の具体的な行動によって指導しましょう。

●「信号が青になっても、必ず左右を見て、車が止まってから渡る」ということも忘れずに教えましょう。



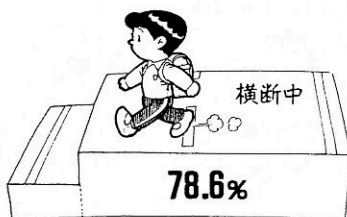
幼児と小学生の交通事故の特徴

※全国・過去3年間の平均構成率
※幼児は6歳以下、小学生は7歳から12歳とする

5割が歩行中に起きています



歩行中の事故は8割が道路横断中に起きています



●歩行中の事故の道路横断中死傷者数

●交通事故の状態別死傷者数